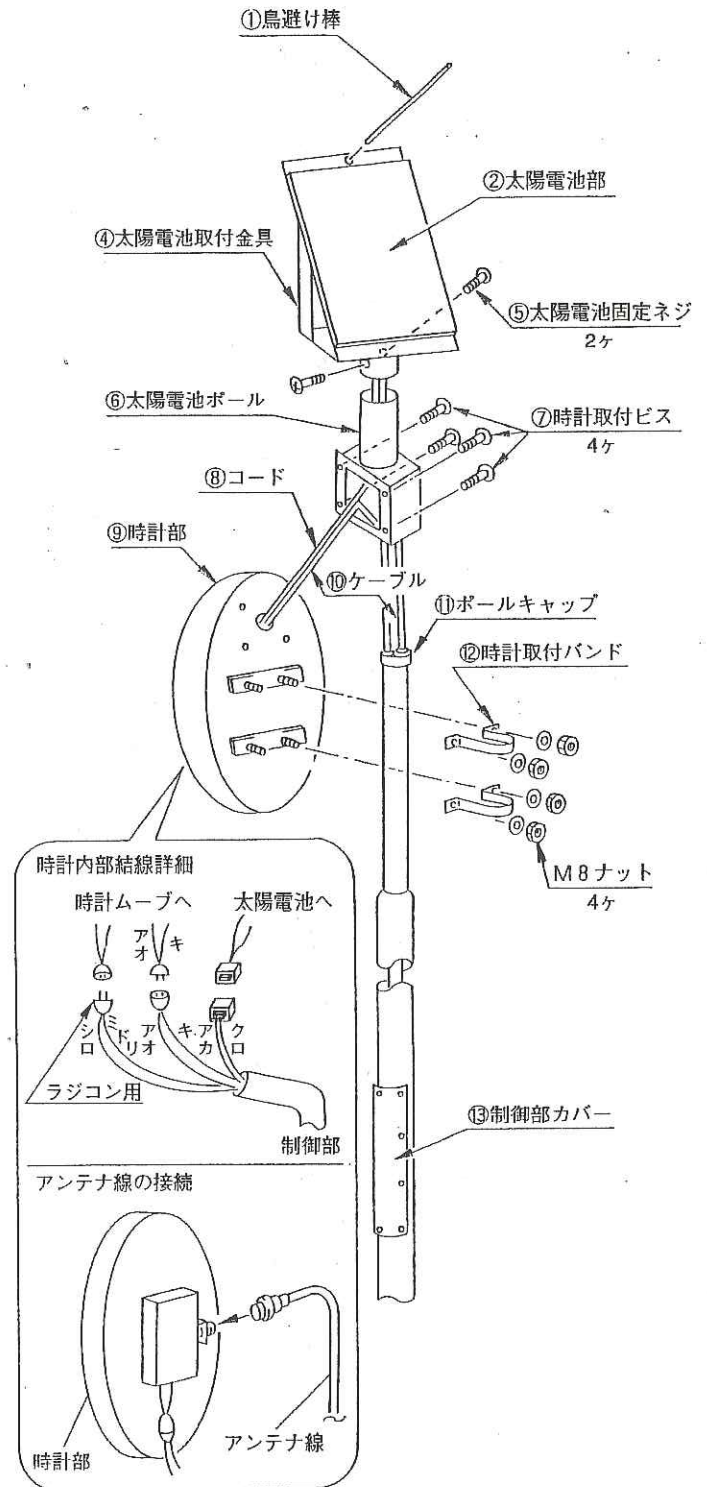


片面型 ST-70-1PA (R)

1. 鳥避け棒①を太陽電池取付金具④にねじ込んで固定します。(鳥避け棒は太陽電池に付属してあります。)
2. 太陽電池からのコード⑧を太陽電池ポール⑥を通し、時計部⑨に入れます。(太陽電池固定ねじ⑤は軽く締めておきます。)
3. ポールキャップ⑪から出ているケーブル⑩を太陽電池ポール⑥を経て時計部⑨に入れます。
4. 太陽電池ポール⑥を時計部⑨に時計取付ビス⑦で固定します。
5. 時計部⑨の向きを決め、時計取付バンド⑫でポールに固定します。
6. 太陽電池部②が真南に向くように磁石で確認し、太陽電池固定ネジ⑤で太陽電池ポール⑥に固定します。
7. 時計部⑨内で右下図のように結線します。
8. 制御部を付属のビスでポール内に固定します。
9. ポール内のケーブルに制御部コネクタを接続します。
10. 次項の手順で時刻合わせが完了しましたら、制御部カバー⑬を固定します。



◎ ラジオコントロール付 (R) の場合

時分針がアンテナとなります。
 (別図、内部アンテナ組立図参照)
 コードはポールキャップからポール内を通し、制御部に接続します。
 アースは必ず接続します。

太陽電池時計取扱説明書

(一面ラジオコントロール付)

1. 概要

本装置は太陽の光を直接電気に変える太陽電池で動作する高精度の水晶式時計です。夜間又は雨(雪)の日でも内装の蓄電池によって正確に動作します。

2. 操作スイッチの説明

支柱のカバーを外すと内部にA図のようなスイッチがあります。

①電源

太陽電池及び蓄電池からの入力電源をON, OFFするスイッチです。

②調針切換

時分針の調針の時常又は停止を切換えます。

③調針

時分針の調針の時の早送り又は0秒合わせをします。

④ラジオ

ラジオを調整するときを試聴にします。

3. 時刻の合わせ方

3-1 ①“電源”スイッチを「ON」にします。

3-2 現在時刻より進んでいる場合

②“調針切換”スイッチを「停止」にします。

現在時刻が指針位置の30秒～1分前になりましたら②“調針切換”スイッチを「常」にし、

③“調針”スイッチを「0秒合わせ」に倒します。現在時刻が指針位置まできたら、0秒で手を放しますと「常」に戻ります。時計は正確に動き始めます。

3-3 現在時刻より遅れている場合

③“調針”スイッチを「早送り」に倒します。

30倍の早さで進みます。現在時刻より2分程進めましたら②“調針切換”スイッチを「停止」に倒します。次に③“調針”スイッチを「0秒合わせ」に倒し、

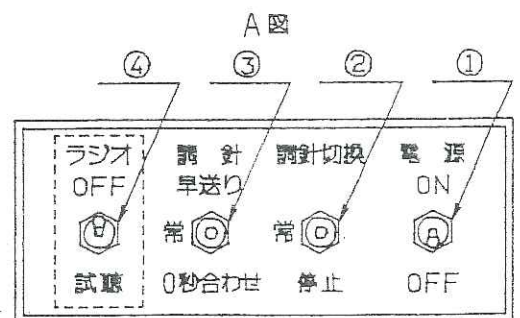
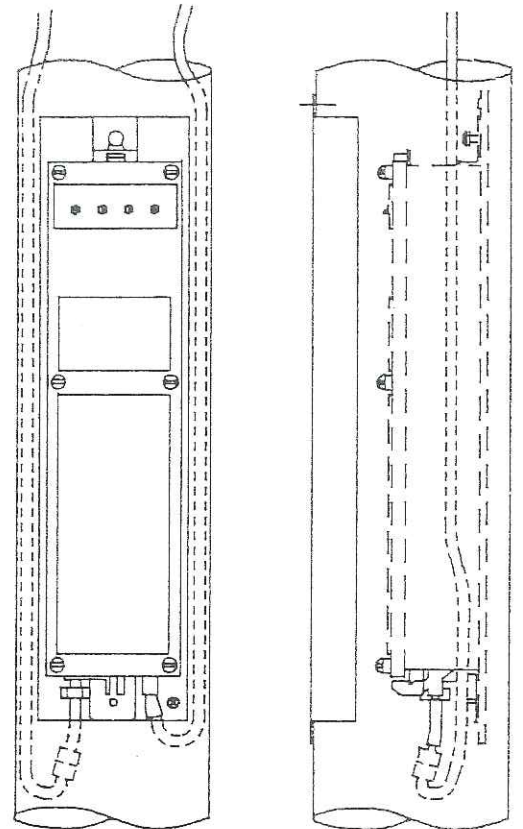
現在時刻が0秒になりましたら手を放します。③“調針”スイッチは「常」に戻ります。現在時刻が指針位置まできましたら、

②“調針切換”スイッチを「常」に戻します。時計は正確に動き始めます。

4. ラジオコントロール

④“ラジオ”スイッチはラジオ受信機取扱説明書参照

取12-11



XE-152

ラジオコントロール取扱説明書

(FMラジオ受信機)

1. 概要

このラジオはNHKの放送を受信して、毎正時に放送される時報音をパルス信号として抽出し、時計装置の誤差を修正するために利用するものです。出荷時に最寄のNHK放送局の周波数を設定し、音量も最良の状態に調整してあります。地域により受信状態が不良と思われる場合は、使用場所の環境が受信に影響している状態にないか、時計の内部アンテナに確実に接続されているかを確認のうえ、次の要領で調整して下さい。

2. 操作方法

2-1 ラジオスイッチ⑥を”試聴”に倒し（指をスイッチから離すと、スイッチは“OFF”に戻りますので、指で押えたままで行って下さい）、ユニットに附属されているイヤホンでラジオを聴いて下さい。

2-2 NHK放送局の周波数をコード表に従い、選局用ロータリースイッチで受信状態の良好な最寄のNHK放送局に設定を変更して下さい。（NHK以外の放送局も受信できますが、時報音の種類が異なるため、時報信号の抽出が出来ませんので、必ず最寄のNHK放送局の周波数で設定して下さい。）設定の合わせかたは、その地域のNHKの周波数を調べ、コード表により選局用ロータリースイッチを廻して周波数を合わせます。

〈セット例〉 ラジオ受信機でNHK-FM（東京）82.5MHzの場合コード表により82.5MHz上位7、下位6となっていますので、選局用ロータリースイッチをマイナスドライバーで上位7、下位6に廻して設定します。

2-3 音量ボリューム（VR）を廻しながら、最良の音量位置に調整します。

“VR”を廻しますと、その左にある“LED”が点灯したり、点滅したりします。音楽放送ではLEDは点灯状態が続きます。ニュース等の人の話し声では点滅状態になります。音が小さすぎてLEDが時々点灯したり、全く点灯しない場合は、最良の位置より半目盛（約1mm）位オーバーに廻して下さい。

2-4 ラジオスイッチ⑥を指から離します。ラジオスイッチ⑥が“OFF”に戻ります。これで調整完了です。以後、時計はラジオ受信機の時報により誤差を自動的に正時に修正して動作します。

FMラジオ受信機の場合

(単位: MHz)

下位 \ 上位	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C
0	-	77.1	78.7	80.3	81.9	83.5	85.1	86.7	88.3	89.9
1	-	77.2	78.8	80.4	82.0	83.6	85.2	86.8	88.4	90.0
2	-	77.3	78.9	80.5	82.1	83.7	85.3	86.9	88.5	-
3	-	77.4	79.0	80.6	82.2	83.8	85.4	87.0	88.6	-
4	-	77.5	79.1	80.7	82.3	83.9	85.5	87.1	88.7	-
5	76.0	77.6	79.2	80.8	82.4	84.0	85.6	87.2	88.8	-
6	76.1	77.7	79.3	80.9	82.5	84.1	85.7	87.3	88.9	-
7	76.2	77.8	79.4	81.0	82.6	84.2	85.8	87.4	89.0	-
8	76.3	77.9	79.5	81.1	82.7	84.3	85.9	87.5	89.1	-
9	76.4	78.0	79.6	81.2	82.8	84.4	86.0	87.6	89.2	-
A	76.5	78.1	79.7	81.3	82.9	84.5	86.1	87.7	89.3	-
B	76.6	78.2	79.8	81.4	83.0	84.6	86.2	87.8	89.4	-
C	76.7	78.3	79.9	81.5	83.1	84.7	86.3	87.9	89.5	-
D	76.8	78.4	80.0	81.6	83.2	84.8	86.4	88.0	89.6	-
E	76.9	78.5	80.1	81.7	83.3	84.9	86.5	88.1	89.7	-
F	77.0	78.6	80.2	81.8	83.4	85.0	86.6	88.2	89.8	-

セット例

例: NHK-FM (東京) 周波数82.5MHz (上位7、下位6)

